

「JAL 航空教室」

11月14日(金)に「JAL 航空教室」を開催し、日本航空ジャカルタ支店から安藤支店長さんをはじめ6名の方が来校してくださいました。前半は「折り紙ヒコーキ教室」と題し、全児童・生徒に本格的な紙ヒコーキの作り方を教えて下さり、みんなで楽しい時間を過ごしました。後半は小3児童以上を対象に「航空教室(職業紹介)」として航空機整備業務や旅客ハンドリング業務について、当事者からの生のお話を聞かせていただきました。

「飛行機が飛ぶ仕組み」や「安全・快適な運航に関わる業務の厳しさややりがい」等についても詳しく教えていただき、貴重な学びとなりました。特に後半は、「働く人々の姿に関心を持ち、職業観を育てる」という「キャリア教育」の良い機会となったと思います。JAL ジャカルタ支店の皆様、ありがとうございました。



寄贈品御礼・りそなプルダニア銀行

11月7日(金)に、りそなプルダニア銀行取締役副社長の酒井英一郎さんが、同銀行バンドン支店長さんとともに来校されました。毎年、BJSに物品等での寄贈を下さっており、今年度は「短焦点型プロジェクター(学習発表会で大活躍)」と「跳び箱ロイター板」をいただきました。同銀行には、昨年度は「ノート型PC3台」と「プリンター2台」を、それ以前には「別館改修」や「多目的室改修」に伴う原材料の寄贈をしていただいています。大切に使用させていただきます。この場を借りて御礼申し上げます。



「全校道德」～講師の方を迎えて～



12月5日(金)「全校道德」を行い、カディール紗耶香さんを講師としてお迎えしました。また、夫のカディール・マーティンさんと義母・狭間貴子さんも同行して下さいました。マーティンさんは、残留日本兵3世で、この日は「インドネシアと日本のつながり～カディール家の軌跡～」と題し、祖父・狭間照隆氏のインドネシアでの足跡を中心に話していただきました。当日のご講話の主な内容は次の通りです。



残留日本兵 狭間照隆



- インドネシア独立の戦いや残留日本兵に関する概要
- 講師義祖父・狭間照隆氏(残留日本兵)の紹介
- 義祖父母がどうしてインドネシアで暮らしていたか
- インドネシアや日本で置かれていた立場について
- スカルノ大統領から頂いた勲章、英雄墓地について
- インドネシア生活を通して感じる日尼両国のつながり

当日は、多くの保護者やBJC関係者の方も参加して下さい、大変貴重なお話を聞かせていただく場となりました。

学校の歴史授業では、日本や世界の歴史上の出来事などを知りその背景や関係性等を学びます。一方で、その時その場には、多くの人の営みが無数にあり、教科書などには見えてこない人間のドラマが数多く存在します。当日の講話では、その貴重なドラマの一つを直接聞かせていただくことができました。子ども達一人一人が、しっかりと受け止め、それぞれ自分なりの想いを胸に刻んで欲しいと願っています。

4週間の「教育ボランティア」

11月24日より4週間、広島文教大学3年生の藤本萌さんが「教育ボランティア」としてBJSで活動しています。将来教職に就く夢を持つ藤本さんにとってBJSでの経験が実り多きものになればと思います。また、BJSの子どもたちにとっても日本の大学生と過ごす日々が良い出会いになることを願っています。

